

## 人感センサー (ON/OFFタイプ)

(防雨型・照度センサー・人感センサー)

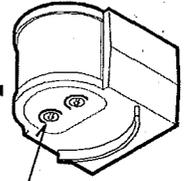
ご使用になられる前に必ずお読みください

この取扱説明書には設置方法やセンサーの設定方法などご使用にあたり重要な事項が書かれてあります。この取扱説明書を大切に保管して、設定の変更などの際にご利用ください。

お客様へ：器具の取り付け工事は必ず電気工事店(有資格者)にご依頼ください。

一般の方の工事は法律で禁じられています。

工事店様へ：工事が終わりましたら、この取扱説明書を必ずお客様にお渡ししてください。

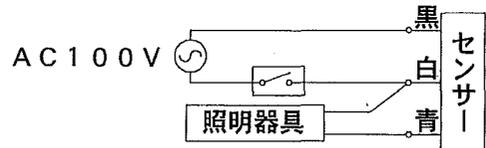


### 機能概要

- 本センサーは人体のみの検知センサーではなく、赤外線の変化を感知するもので、熱源となる人・車などを感知し、照明を点灯させるものです。
- 明暗センサーを内蔵していますので点灯照度を設定することで暗くなってから点灯させることができます。
- 壁スイッチにより8時間の連続点灯ができます。
- 定格 使用電圧 AC100V (±6%)  
周波数 50Hz/60Hz
- 照明器具専用です。  
白熱灯・ハロゲンランプ 300Wまで  
低力率形蛍光灯 100Wまで  
当社指定インバータ器具のみ合計 40Wまで  
高効率形蛍光灯・HID器具は使用不可  
調光器・トランス内蔵器具は使用不可

### 配線方法

- 結線は結線図のとおり確実に行ってください。  
★結線を間違えるとセンサーの故障や不点灯の原因となります。



### 【配線上の注意】

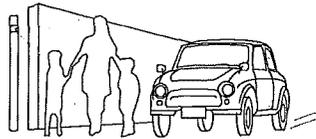
- ・壁スイッチの設置をしてください。
- センサー異常時に電源を壁スイッチよりリセットができます。
- 不在など使用しない時の作動停止ができます。
- 来客の時に連続点灯に切り替えられます。
- ・ライトコントロール(調光器)、トランスのついている回路ではご使用になれません。

### 設置場所を決めるにあたってのご注意

**△注意** 次のような場所には取り付けないでください。  
★センサーの誤動作、ランプの短寿命や故障の原因になります。

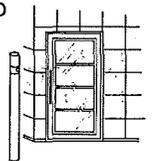
1. 感知エリア内に交通量の多い道路がある場所

- ★熱源のある車も人と同様に感知しランプの点滅が頻繁になりランプが短寿命となります。



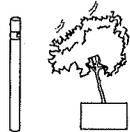
2. 大理石やガラスなど反射の強い壁や玄関ドアのある場所

- ★センサーからの赤外線が反射し、設定したエリア外で感知され誤作動の原因となります。



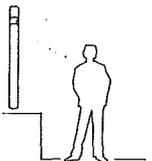
3. 風などでよく揺れる木々のある場所

- ★センサーは揺れる木の葉も感知し誤作動の原因となります。



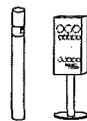
4. 取り付け高さ2mを越える場所

- ★感知エリアは2m以下で設定されていますので誤作動の原因となります。



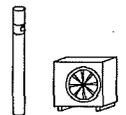
5. 前面に障害物のある場所

- ★看板・ガラスなどがセンサーの前面にあると赤外線が遮断され感知エリア外になります。



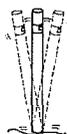
6. 急激な温度変化を受ける場所

- ★急激な温度変化は誤作動の原因となります。



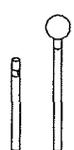
7. 設置場所が不安定な場所や振動の激しい場所

- ★不安定な場所ではセンサーそのものが揺れて誤作動の原因となります。



8. 夜間でも他の照明から光を受ける場所

- ★センサーに設定した照度以上の光が他の照明からあたるとセンサーは作動しません。

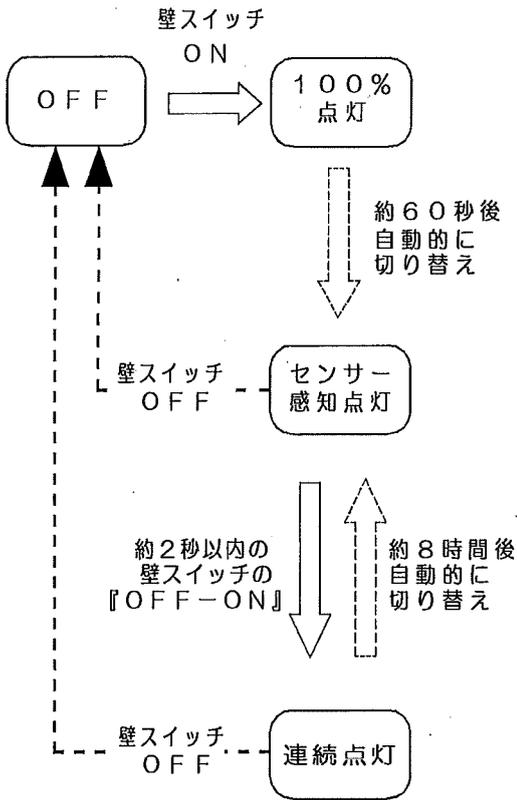


9. 樹木・建物などの陰になり昼間でも暗い場所

- ★昼間でも暗い場所では作動することがあります。



## センサー動作について

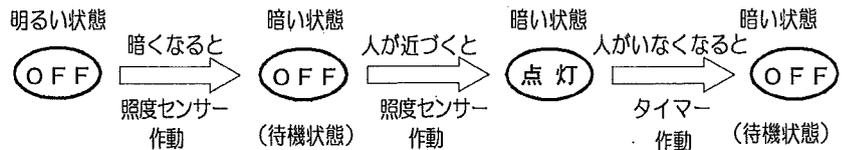


### ■100%点灯

電源投入後強制的に点灯し、器具の結線作業を確認できます。約60秒経過後、センサー感知点灯になります。

この間は、人を感知すると設定に関係なく点灯および消灯しますが誤作動ではありません。

### ■センサー感知点灯

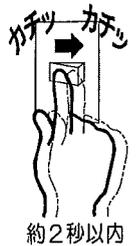


- 感知エリア内で人が動いている間は、点灯します。
- 感知エリア内で人が静止したり、エリアから人が離れると自動的に消灯します。

### ■連続点灯

壁スイッチを操作することにより、周囲の明るさ、人体感知に関係なく器具を点灯させることができます。

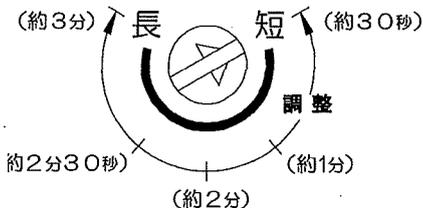
- 壁スイッチをOFFにしてから約2秒以内にONにすると連続点灯状態になります。連続点灯状態に切り替え後、約8時間で自動的にセンサー感知点灯にもどります。



## センサー設定について

### 点灯保持時間調節ツマミ

感知エリアより人がいなくなってから消灯になるまでの時間が調節できます。



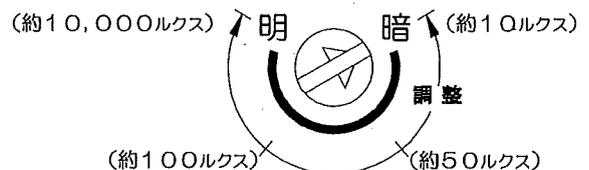
- 30秒～3分の範囲で調整できます。
- ※出荷時には『短』に設定してあります。

### 点灯照度調節ツマミ

点灯照度は消灯状態から点灯状態へ切り替わる照度です。内臓の明暗センサーの働きにより、周囲の明るさが設定した照度以下になったときだけ作動します。

昼間の無駄な点灯をさけるため、周囲の明るさがどの程度になったらセンサーを動作させるか設定してください。

適正な点灯照度は約50ルクスですが実際は器具を取付けられる周囲の明るさによって調節してください。



- 10ルクス～10000ルクスの範囲で調整できます。
- ※出荷時には『暗』約10ルクスに設定してあります。

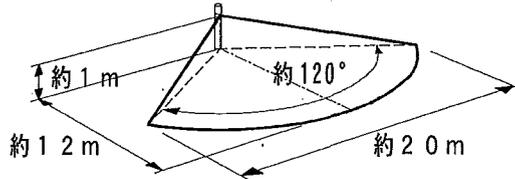
## 感知エリアについて (センサーが感知する範囲)

器具の性能を確保するため、設置場所は感知エリアを考慮して決定してください。

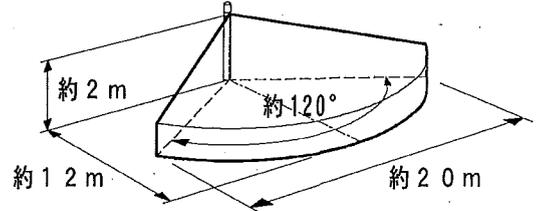
○センサーの特性上、感知エリアを人が横切る位置に設置しますと、センサーの人体感知の信頼性がより向上します。

○センサー正面に向かって人が近づくような位置に設置しますと、感知しにくい場合があります。

### ■センサー感知エリア(目安) [センサー位置高さ1 m]

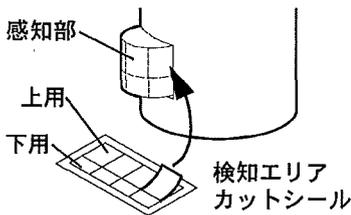


[センサー位置高さ2 m]



※赤外線の到達距離は1.2m以上です。それ以上でも感知する場合がありますので設置の際は感知エリアを確認してください。

### ■センサー感知エリアをカットしたい場合

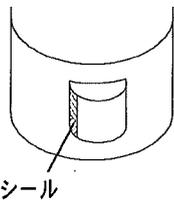


検知エリアカットシールを希望の感知範囲に合わせて貼り付けてください。感知エリアを段階的に調整することができます。

調整の際は必ず感知エリアを確認しながら行ってください。

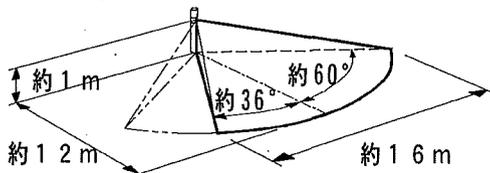
#### 【カットした場合のセンサー感知エリアの目安】

○上下シールを片側に貼り付けた場合 センサー感知エリアの角度を狭くできます。

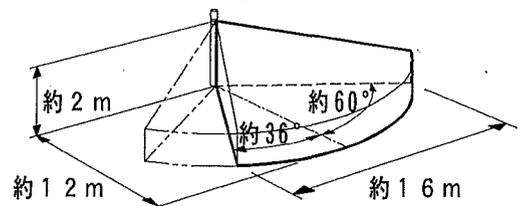


シール

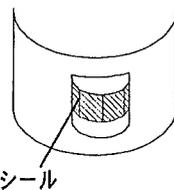
[センサー位置高さ1 m]



[センサー位置高さ2 m]

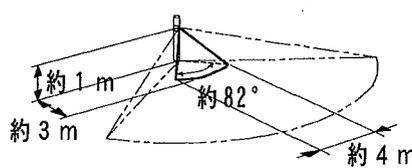


○上シールを全面に貼り付けた場合 センサー感知エリアの角度および距離を小さくできます。

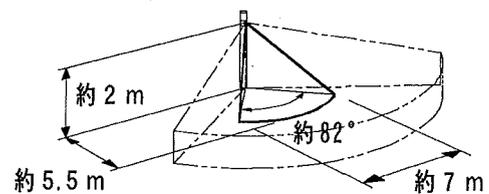


シール

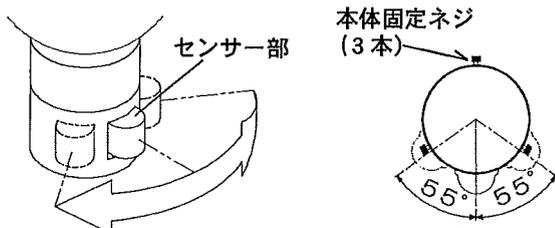
[センサー位置高さ1 m]



[センサー位置高さ2 m]



### ■センサー部の可動範囲



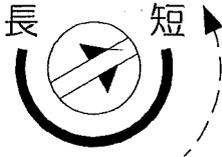
水平感知エリア方向が本体部を動かすことにより、左右55°づつ(左図参照)調節できますので、本体固定ネジ(3本)をゆるめて感知エリア方向を十分検討の上設定してください。

設定後、十分に締め付け固定してください。

# 感知エリアの調整について

## ■センサー感知エリア確認方法

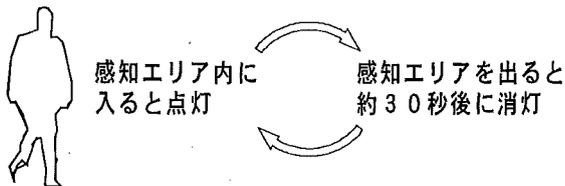
点灯保持時間調節ツマミ



点灯照度調節ツマミ



周囲が明るい時でも、点灯照度ツマミを『明』にあわせ、点灯時間を『短』にあわせると、人を感知するたびに約30秒間点灯します。センサーの周囲を歩き、感知エリアの確認、調整を行ってください。



●感知エリア内に人がいても、動かなければ感知しません。

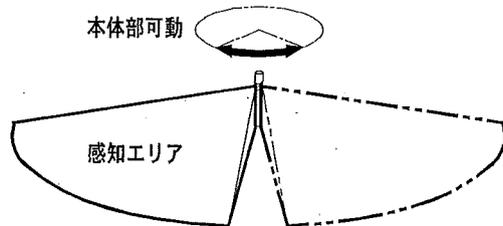
### 【ご注意】

感知エリア確認後は必ず『点灯照度設定ツマミ』を約10ルクスから約100ルクスの間に戻してください。周囲が明るい昼間でも照度センサーが作動し人を感知し、ランプの点滅をくり返しランプの寿命が短くなります。

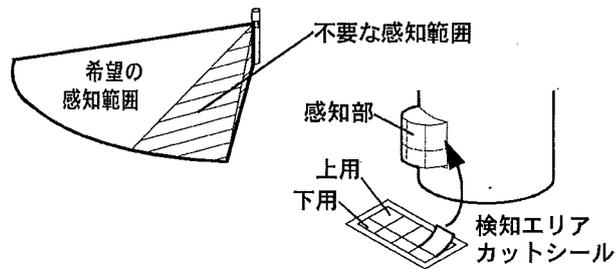
## ■センサー感知エリア設定方法

① 水平感知エリア方向は本体部を動かすことにより調節できます。『センサー部の可動範囲』の項目を参照し、十分検討の上設定してください。

※特に感知エリア内に交通量の多い道路がある場合は本体可動調節を行ない、感知エリア方向を変更してください。『設置場所を決めるにあたってのご注意』の項目参照



② 不要な感知範囲の調整は『感知エリアについて』を参照し同梱の検知エリアカットシールを感知部に希望の感知範囲に合わせて貼り付けてください。



## ■こんな時には

ご使用中の器具に異常を感じた時には、直ちにスイッチを切ってここに書かれている事柄を確認してください。

どんな状態ですか？

考えられる原因

こうしてください。

感知範囲に人がいるのに点灯しない。	電源が入っていない	壁スイッチ、その他器具についているスイッチを再度確認してください
	ランプがゆるんでいる	ソケットとランプの締め付け部を再度確認してください
	ランプが切れている	ランプを交換してください。

## ◆お手入れのしかた

センサー部のよごれを定期的に清掃してください。  
★感知部が汚れると作動しにくくなります。

1. 電源を切ります。
2. 柔らかい布で汚れを拭き取ります。



## ■アフターサービスについて

ご使用中、器具が普段と違った状態になりましたら直ちに使用を中止し、器具の型番（器具本体のラベルでご確認ください）、故障の状況、ご使用期間をご確認の上、お買い上げいただきました販売店、もしくは別紙の山田照明サービス受付窓口までご相談ください。